



予算・決算特別委員長



嶋崎 秀彦

予算・決算特別委員会を終えて

今回の審査の中で、残念ながらお茶の水小学校・幼稚園建て替え計画の件で、執行機関と議会との信頼関係を揺るがす答弁があり委員会は紛糾しました。この件につきましては、後日、特別委員会を作り可及的速やかに議論を進めることとなりました。

一方、「ちよだみらいプロジェクト」の初年度であることから、遂行するにあたっては議会としてしっかりとした議論を行っていくことも確認しました。そして4月の改選から議員の構成も変わり、

予算・決算特別委員会の総括質疑では、新人議員も活発な質疑、議論を展開し、議会としての権能を果たせた委員会であったと思えました。

しかし、議会としては執行機関の数々の答弁に対し、信頼関係を揺るがす事態となったことから、決算認定に対して全議員より「**附帯決議**」が提案され、可決することになりました。

今後は、この予算・決算特別委員会の審査結果を十分に踏まえ、予算作業を行っていただきたいと思えます。

附帯決議とは

議案を議決する際に付け加えられる、議会の意見や要望です。法的な拘束力はありませんが、政治的に尊重されるべきものとされています。



TOPIX 1 お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会の設置について

お茶の水小学校・幼稚園については小学校校舎の老朽化や幼稚園の仮園舎が錦華公園の中にあるなど、早急に改築することが地域住民にとって喫緊の課題となっています。今まで議会は執行機関にその進捗状況を確認してきましたが検討中であるとして具体的な話は何も出てきませんでした。ところが今定例会において移転建替えも検討しており、移転先候補地の所有者と協議していることなどが判明しました。

議会への報告なく、執行機関が独自で物事を進めてきたことに対して同整備は一旦立ち止まり現地建替えも含め、議会と十分協議したうえで可及的速やかに進めていくことになりました。今後、議会としては様々な課題を整理し一日も早い整備と子供たちにとって良好な教育環境を実現できるよう迅速に、全庁的な対応を求めるため特別委員会を設置し調査することとしました。

お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員長 桜井ただし

TOPIX 2 千代田区の保養施設について

千代田区の保養施設には箱根、湯河原、嬬恋、軽井沢の4つの施設があります。その内、3施設についてはその利用状況や保養施設を取り巻く現況などを鑑み区は施設の廃止、売却の考えを示しています。委員会としては各々の施設を取り巻く環境が異なることから、個々の施設の現況を調査し、更なる活用の可能性について引き続き議論をしていくことと致しました。また、各町会長会議でのご意見や区民の皆様からいただいた貴重な声を重く受け止め大切な財産を安易に処分することのないよう十分に調査、検討をまいります。

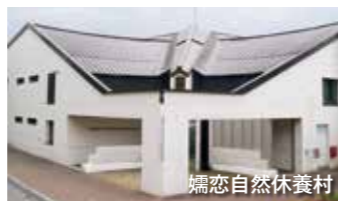
地域保健福祉委員長 桜井ただし



箱根千代田荘



メレーズ軽井沢



嬬恋自然休養村



湯河原千代田荘



戸張孝次郎



桜井ただし



小林やすお



松本佳子



嶋崎秀彦



内田直之

暮らしす人視点の、
「あたたかい」街づくりを
めざして。



永田壮一



山田丈夫



池田とものり



大坂隆洋



あなたの声をお聞かせください!

千代田区自由民主党議員団 ●お電話で 03-5211-4320 ●FAXで 03-5275-6882

千代田区政と千代田区民をつなぐ[VOICE] 2015年秋号(年4回発行) 千代田区自由民主党議員団 活動レポート
発行: 千代田区議会 自由民主党議員団 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1(千代田区役所7F)

代表質問

松本佳子



複合災害対策について

Q ①複数の災害が同時あるいは連続して発生した場合、どのような対策を図るのか。②東京都及び区から、約1カ月の間に2種類の防災関係資料が全世帯へ配布された。区はどのように状況を把握していたのか。また、どのように区別し活用すればよいのか。

A ①専門家の意見を踏まえ検討していく。②東京都の調整不足。都の資料はあらゆる災害に対する一般的知識を掲載、区の資料は地域に密着した防災情報を掲載している。

保育所代替園庭の整備について

Q ①園庭のない保育所の代替園庭として使用されている公園・児童遊園について、安全面やトイレ等衛生面の改善、乳幼児用遊具の設置等、保育所からの要望にどのように対応していくのか。②多世代にわたる利用者のニーズを踏まえた整備の方向性は。

A ①園児専用時間帯の設定、乳幼児用遊具の設置、トイレ改修等、環境整備に取り組んでいく。②利用頻度の高い公園等を優先的・計画的に整備する方向で協議している。

26年度 決算・財政運営について

Q ①予算執行にあたって、どのように工夫したのか。また、今後の財政運営にどのように生かしていくのか。②組織内のチェック体制が不十分等、定期監査における指摘事項の改善策は。

一般質問

大坂隆洋



創業支援への取り組みについて

Q 中小企業の活性化支援は、景気対策のみならず、将来に向けた社会保障制度堅持のためにも重要性を増してきている。中でも創業者支援は新たな需要や地域雇用の創出につながるため、街の活性化策としても大きな効果が期待できる。こうした中、国は創業率向上に向けた制度づくり(産業競争力強化法)を行っており、千代田区でもこの制度を積極的に活用し、まちみらい千代田等の関係団体と連携し、一体となった創業支援を行っていく必要があると考える。

A 産業競争力支援法に基づく創業支援計画の認定への取り組みは、まちみらい千代田等、関係団体の事業と連携して総合的に創業者への支援を行う方向で検討している。東京商工会議所千代田支部や金融機関と具体的な連携についても協議しており、国からの補助金を活用したビジネス起業塾の充実や、創業者向け補助金の活用が可能となる。既存の創業支援事業のニーズや課題等を関係団体と共有することで、創業者に利用しやすい仕組みとなるよう努めていく。

商工振興は街の活性化に大きく寄与します。今後も支援策の充実と利便性の向上に向けて取り組んでいきます。

A ①各事業部の目標を明確にし、事業部間の連携を図り、適切かつ効率的な執行に努めた。基金を有効活用し、後年度負担を残さないよう運営していく。②再発防止策を明記した失敗事例集の作成、職員全体の意識改革を行っていく。

この他にオリンピック・パラリンピック東京大会実施の大義や機運醸成のための取り組みについて質問しました。

永田壮一



マイナンバー制度について

Q マイナンバーカードは身分証明書に使える他、免許証、保険証、区独自の機能が追加される予定であり今後の有効活用を期待している。しかし、制度そのものが分かり難いため多くの国民が不安を感じている。セキュリティ対策、制度の理解を深めた上で区民サービス向上に役立つ利活用推進を求める。

A 区民の不安には広報誌での周知、説明会の開催、臨時相談窓口の設置で対応する。セキュリティ対策は違反行為への厳しい罰則と合わせて監視体制を強化する。行政の効率化、公平・公正な社会の実現に向け利活用を進める。

選挙権年齢引き下げについて

Q 選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、教育現場の政治的中立性確保が問題になっている。愛国心・公共心を教育することで自分が国・地域社会を支えるという意識が育てば若者の投票率向上に繋がっていくのではないかと。

A 教育委員会が政治的中立性確保を指導。道徳の時間だけでなく全教育活動を通じて愛国心・公共心を徹底している。

マイナンバー制度のネット上での否定的な情報はほとんど根拠のないものです。利便性の高いカードとして普及できるよう追加機能等について検討していきます。

池田ともりのり



バリアフリー化への取り組み

Q だれもが安心して安全に歩ける歩行空間へバリアフリー化していくために、点字ブロックの整備計画や歩道と車道の段差解消への対策や、活用中のバリアフリーマップの更新や見直しの展望は?

A 障害者支援団体の意見を踏まえ調査を行い、他の自治体の取り組み等を参考に検討し適切に対応していく。マップの作成団体に更新や多言語化等を依頼中、継続して支援していく。

防災・防犯の情報配信について

Q 安全・安心メールからの不審者情報の経過情報配信がほしい。もっと積極的なメール登録の周知も必要ではないか。防災無線からデジタル掲示板設置への移行の進捗状況と活用計画は。

A ほとんどが事後情報のない軽微な事案のため、注意勧告として配信している。メール登録へはチラシ配布や保護者の連絡網メール登録時など継続して周知していく。デジタル掲示板は今年度29カ所に設置予定で、多言語・交通機関運行情報表示、小型スピーカーを併設予定。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて整備計画が進んでいますが、大会後も千代田区がモデル都市として評価されるように安全・安心な街づくりをめざしていきます。